

南区区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画の平成30年度進捗状況について

■第2次実施計画（H29年度～H30年度）について

- ・第2次実施計画は平成29・30年度の2年間で社会状況の急激な変化に対応しながら、区が重点的に取り組む事項を掲載しています。
- ・各取組の工程や数値目標を設定し、平成30年度の評価を行います。

■平成30年度取り組み実施状況

() 平成29年度

目指す区のすがた	まちづくりの方針	取り組み数	取り組み内容数	評価		
				達成	概ね達成	未達成
I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち	1 安心して、快適に暮らすまちづくり	15	31 (31)	28 (27)	3 (4)	0 (0)
	2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり	17	28 (28)	24 (23)	3 (4)	1 (1)
	3 区民や地域が主役となるまちづくり	5	15 (16)	15 (16)	0 (0)	0 (0)
II 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち	4 交通の利便性が高いまちづくり	6	13 (13)	12 (12)	1 (1)	0 (0)
III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち	5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり	12	20 (20)	13 (15)	6 (5)	1 (0)
	6 いきいきと働けるまちづくり	6	13 (14)	12 (13)	1 (1)	0 (0)
IV 大凧が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち	7 にぎわいと多彩な交流のまちづくり	5	9 (9)	7 (8)	2 (1)	0 (0)
	計	66	129 (131)	111 (114)	16 (16)	2 (1)
				86.1%	12.4%	1.5%

※取り組み数、取り組み内容数は重複を含む

基本方針に基づく各取り組みに対する評価は「達成」、「概ね達成」が98.5%であり、方針に基づくまちづくりを推進したと考えます。

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

1 安心して、快適に暮らすまちづくり

(1) 減災に向けたまちづくり

近年全国各地で、大規模地震や豪雨など自然災害が頻発しています。災害から住民自らが命を守り、災害発生時は住民同士が助け合う体制を構築するなど、地域の防災力を高め、区民と行政が共に減災に向けたまちづくりを進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
1	ア 自主防災組織の育成・強化	自主防災訓練の実施 【区長マニフェスト】	自主防災訓練助成の有無に関わらず、全ての自主防災会23組織で防災訓練を実施	全ての自主防災会(23組織)で防災訓練を実施	達成	地域総務課 総務
		防災行政無線の運用	無線テストの実施 年1回	・6月16日 全市一斉地震対応訓練 ・11月4日 南区総合防災訓練 ・11月21日 Jアラート試験放送 ・2月20日 Jアラート試験放送 ・年4回実施(南区独自は1回)スピーカーからの音声も確認	達成	地域総務課 総務
2	イ 防災意識の醸成	南区総合防災訓練の実施 【区長マニフェスト】	参加者数 2,000人	参加者数 3,163人	達成	地域総務課 総務
		避難行動要支援者に対する支援	検証・新規名簿登録者への安否確認シール等の配布	新規名簿登録者分の安否確認シールを配布(避難行動要支援者 H30.12.1現在 1,115名)	達成	地域総務課 総務
		避難所運営マニュアルの作成	・避難所運営検討委員会の現地での開催 年1回 ・地域、施設管理者、避難所、指名職員によるマニュアル見直し	各避難所現地で避難所運営委員会を実施(H30.7月～8月の間)	達成	地域総務課 総務
		自主防災組織リーダー研修会の実施	防災セミナー 年1回実施	防災セミナー 年1回実施	達成	地域総務課 総務
		防災教室の実施	防災教室 ・区内6中学校で実施 ・高校生防災ボランティア講座の実施 (年2回)	・区内全6中学校で防災教室を実施 ・白根高校の3年生及び1・2年生を対象に各1回(計2回)防災ボランティア講座を実施	達成	地域総務課 総務

(2) 水害に対する安全の確保

水害から市民の生命と財産を守るため、信濃川水系河川整備計画に基づく信濃川の河道掘削、中ノロ川の河道掘削及び堤防整備を促進します。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
3	ア 信濃川や中ノロ川の河道掘削と中ノロ川の堤防整備の促進	中ノロ川の河道掘削工事及び堤防かさ上げ工事について、地元と県との調整	県と進捗確認・今後の工事計画などを話し合う会議を行う。(4回以上/年)	・事業調整会議 5回 ・負担金協定協議 3回	達成	建設課
		豪雨時に河川堤防道路及び法面の点検を実施	・豪雨時は緊急点検を実施し、異常発見時は国、県への情報提供を行う。 ・国、県との合同点検を実施する。(年1回)	・定期点検 1回 ・豪雨時の緊急点検、定期点検を実施	達成	建設課
4	イ 中ノロ川の国による管理直轄化	中ノロ川の治水安全度が向上するよう、国による信濃川との一体的な管理直轄化を要望	国による信濃川との一体的な管理直轄化を、毎年継続して要望を行う。(年2回)	・「国の施策・要望に対する提案・要望」を国に提出 ・「河川・海岸・砂防事業要望書」を県に提出	達成	建設課

(3) 都市基盤の強化による安心・安全なまちづくり

幹線道路の整備を進め、各地域拠点間の移動時間の短縮を図るとともに、信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討を進め、災害時の緊急輸送道路の確保など防災機能強化を図ります。また、市民の安心・安全な暮らしを守るため、市街地の浸水対策を進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
5	ア 幹線道路の適正な維持管理	国道及び主要市道の日々の道路パトロールを実施し、補修・修繕を行います	・通常パトロールを週4日実施 ・夜間パトロールを週1回実施 ・橋梁パトロールを年2回実施	・通常パトロール 週4日 ・夜間パトロール 週1回 ・橋梁パトロール 年4回 ・歩道パトロール 年2回	達成	建設課
6	イ 新潟中央環状道路の早期全線供用の推進	国道116号から8号区間について、平成31年度完了を目指す	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(5回/年)	・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 5回/年 ・事業説明会実施 ・調整会議実施	達成	建設課
		国道8号から49号の区間について、平成26年度に着手し早期整備の促進を図る	・西部地域土木事務所とともに事業説明会を随時開催する。 ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(4回/年)	・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 5回/年 ・事業説明会実施 ・調整会議実施	達成	建設課
7	ウ 国道8号白根バイパスの暫定2車線の早期供用及び大野大橋以南の4車線化の促進	8号白根バイパスの早期暫定2車線供用に向け、地元と国との調整	国と進捗確認・今後の工事計画などを話し合う会議を行う。(3回以上/年) 国道8号白根バイパス開通式を開催	・工事の地元調整 ・バイパス開通に向けた各種調整 ・H31.3.10 開通式	達成	建設課
		大野大橋以南の渋滞緩和のため、ワークショップの開催、提言書を取りまとめ提出	国との進捗確認・今後の工事計画などを話し合う(1回以上/年)	・4.26 ワークショップ開催 ・9.20 地元説明会 ・12.26 国へ提言書提出	達成	建設課
		8号白根バイパスの早期暫定2車線供用後の現8号の道路空間利用形態を「にいがた南区創生会議」で検討 【区長マニフェスト】	にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)6回開催、報告書をまとめる 6月、7月マルシェを開催	・にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会) 6回開催 ・マルシェを実施 2回開催 ・旧8号道路空間利用について報告書を取りまとめた。	達成	建設課
8	エ 信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討、維持補修の実施	もぐり橋の架け替え、老朽化の著しい橋の架け替え	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(4回/年)	西部地域土木事務所と進捗確認し、今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 4回/年	達成	建設課
		橋梁の安全確保に向けた補修・補強工事	・定期的な橋梁パトロールを実施する。(1回/年) ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(4回/年)	西部地域土木事務所と進捗確認し、今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 4回/年	達成	建設課
9	オ 浸水対策の推進	ポンプ場及び雨水幹線整備の推進	雨水施設整備の進捗率 100%	雨水施設整備の進捗率 99% (本体工事は竣工、3月より運転開始済み)	概ね達成	西部地域下水道事務所普及推進課 下水道推進室
		自助・共助対策の支援	雨水助成制度を広報紙に掲載する(2回以上/年)	広報回数 2回 (区だより 1回、市報 1回)	達成	西部地域下水道事務所普及推進課 下水道推進室
		幹線管渠の整備後は、市街地の管渠や側溝を整備し、浸水箇所を減少する	白根中心市街地の側溝整備を実施する。(5箇所)	白根中心市街地の側溝整備 5箇所	達成	建設課

(4) 区民の生活を守る意識づくりと対策の強化

交通事故数は、年々減少傾向にありますが、特に高齢者がかわる事故の割合が増える傾向にあるため、その防止対策の強化を進めます。
全国的に発生件数が増加している特殊詐欺被害の防止対策と防犯意識の向上に向けた対策を関係機関と連携して進めます。
火災予防に関する啓発活動についても消防署・消防団と連携・協力して進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
10	ア 交通安全対策の推進	高齢者交通安全の推進	・高齢者街頭広報:年2回実施 ・高齢者交通安全教室:12地区中3地区で実施	・高齢者街頭啓発広報 年4回 ・高齢者交通安全教室 年12地区中3地区で実施	達成	地域総務課 総務
		子どもたちの交通安全意識の向上	・全小・中学校:年1回以上実施 ・幼稚園、保育園:全17園で実施	・全小・中学校 年1回以上実施 (大通・臼井小学校は年2回実施) ・幼稚園・保育園 全17園で実施 (あかね保育園は独自実施)	達成	地域総務課 総務
		区民への交通安全の啓発	・各季交通安全運動:年4回 ・シートベルト・チャイルドシート使用促進運動:年1回 ・飲酒運転の根絶:年1回	・各季交通安全運動 年4回 ・シートベルト・チャイルドシート使用促進運動 年3回 ・飲酒運転の根絶 年1回	達成	地域総務課 総務
		交通安全指導員の育成	交通安全指導員研修:年5回(延べ25人参加)	交通安全指導員研修 年8回(延べ27人参加)	達成	地域総務課 総務
11	イ 防犯体制の強化と意識啓発の推進	関係機関・団体と連携した街頭啓発活動への取り組みと防犯ボランティアネットワークへの登録の推進	・街頭啓発:年13回以上実施 ・登録団体:7団体	・街頭啓発 年21回実施 ・登録団体 8団体 (新規団体:味方小学校PTAこども見守り隊)	達成	地域総務課 総務

(5) 空き家の適正管理に向けた仕組みづくり

人口の減少や流出により空き家が増え、中には管理が不十分なため環境や防犯上の問題が起きています。空き家が適正に管理され、さらに地域コミュニティ活性化のために空き家の利活用を促進します。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
12	ア 空き家の利活用の促進	「空き家活用関連事業」の地域への啓発 【区長マニフェスト】	自治会長・町内会長研修会で啓発1回、区づくり事業:空き家対策プロジェクト、セミナーの実施 1回、空き家調査等 空き家データの構築(自治会数) 120自治会	・自治会長・町内会長研修会 啓発1回 ・空き家相談会 年1回実施 ・空き家調査結果説明 全地区実施 ・空き家データの構築(自治会数) ・240自治会(H31現在、統合により239自治会)	達成	区民生活課 地域総務課 総務

(6) 快適な生活環境の形成と環境の保全

家庭から排出されるごみの減量及び資源の再利用・再生利用の取り組みを進めるほか、河川や田園に囲まれた豊かな自然環境の保全に取り組みます。併せて、排水路などへの生活排水の流入による、悪臭や害虫の発生を防止するため、効率的に下水道や合併処理浄化槽など総合的な汚水処理施設の整備を推進します。また、処理区域内の下水道への接続を促進します。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
13	ア 家庭系ごみの減量	地域における啓発活動	・1人1日あたりのごみ排出量(直搬含む) 497g ・地域会合やイベント等での啓発活動 15回	・1人1日あたりのごみ排出量(直搬含む) 508g ・地域会合やイベント等での啓発活動 15回	概ね達成	区民生活課
14	イ 河川環境の保全	汚染物質流入・不法投棄の防止	・灯油漏れ事故防止の区だよりの啓発広報 2回 ・不法投棄防止看板の配布	・灯油漏れ事故防止の区だよりの啓発広報 2回 ・不法投棄防止看板の配布	達成	区民生活課
15	ウ 下水道への接続の推進	各種助成制度の周知の強化	助成制度の内容を広報紙に掲載する (2回以上/年)	掲載回数 5回 (融資制度 2回、接続啓発 3回)	達成	西部地域下水道 事務所普及推進 課下水道推進 室
		接続勧奨の強化	・職員一丸となった休日訪問活動を年に2回開催 ・水洗化率+1.5%(58.38%→59.88%)	・従来の方法を見直し、初めにPRを行い反応や問合せのあったお客様の要望に沿って休日や夜間を含め勧奨を行った。 ・水洗化率については、1.88%増(58.38%→60.26%)	概ね達成	西部地域下水道 事務所普及推進 課下水道推進 室

2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり

(1) ひととひとが支えあう地域づくり

地域で培われた人材資源や支えあう風土を活かし、その経験・知識を地域に役立てることに、子どもと子育て世代、障がい者、高齢者など誰もが支えあうまちづくりを進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
16	ア 誰もが地域で育て見守り、つながる仕組みづくり	地域による地域福祉計画の推進	・地域福祉計画の進行管理と年度評価による計画の推進 ・推進委員会年2回開催	・地域福祉計画の進行管理と年度評価による計画の推進 ・推進委員会 年2回開催	達成	健康福祉課

(2) 子どもを安心して産み育てられるまち

子どもを安心して産み育てるために、子育て中の保護者が不安感や孤独感を抱えずに子育てできる環境を整備するとともに、地域の人材や関係機関との連携を図りながら、地域全体で子育てを支えます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
17	ア 子育て広場の充実	保護者の居場所の確保	・子育て広場の開催 30回 ・子育て広場参加者の交流会開催1回	・子育て広場の開催 55回 ・子育て広場参加者の交流会 2回	達成	健康福祉課
		多様な世代間交流の推進	保育園、地域の茶の間等を活用した交流会の開催 24回以上	保育園、地域の茶の間等を活用した交流会の開催 24回以上	達成	健康福祉課
18	イ 子育て支援リーダーの育成・強化	子育て支援の人材育成 【区長マニフェスト】	・子育て支援リーダースキルアップ研修4回開催 ・子育て支援リーダーによる新たなリーダーの育成 1名増加 (累計リーダー数 18名)	・子育て支援リーダースキルアップ研修7回実施 ・新たなリーダーの育成 2名増加 (累計リーダー数20名)	達成	健康福祉課
19	ウ 多様な保育ニーズに対応した子育て環境の整備	保育サービスの充実	0～1歳児の年度途中入園に対応するため、臨時保育士を募集し、3人確保する。	0～1歳児の途中入園希望に対応するため、臨時保育士の確保を行った。臨時職員を3人採用。	達成	健康福祉課
20	エ 子育て情報の発信	多様な媒体を活用して情報を発信する	・区だより、HPで子育て広場など、子育て情報を発信月1回以上 ・赤ちゃん宅を訪問して情報を届ける	・区だより、HPで子育て広場など、子育て情報を月1回以上発信した。 ・赤ちゃん宅訪問のPRは行ったが、依頼がなかった。	達成	健康福祉課
21	オ 子どもを見守る地域づくり	児童館、子育て支援センターや地域コミュニティ協議会などと連携し情報を共有することで、地域で子どもを見守る体制づくり	・児童館運営協議会の開催 年2回 ・コミュニティ協議会と児童館の連携事業実施(各館10回以上) ・ネットワーク強化に向けた支援センター会議開催 年3回	・児童館運営協議会の開催 年2回 ・コミュニティ協議会と児童館の連携事業実績 各館10回以上 ・ネットワーク強化に向けた支援センター会議開催 年3回	達成	健康福祉課

(3)障がいのある人もない人も快適に暮らせるまち

障がいのある人もない人も、安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、区民ひとりひとりが多様性を受け入れ、誰もが「共に生きる社会」を実感できるまちづくりを進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
22	ア 自立支援体制の整備	住み慣れた地域での在宅生活を促進するため、在宅福祉サービスの利用促進とサービス等利用計画の相談体制強化	・福祉サービス制度の周知徹底 ・基幹相談支援センターの有効活用のため区だよりに年1回掲載 ・研修会の実施1回	・区だよりに掲載 1回 ・心の健康づくり講座 1回 ・研修会の実施 1回	達成	健康福祉課
23	イ 就労に向けた支援	障がい者農業体験を通じた就労に向けた機運の醸成	施設外就労で農家との契約4件	施設外就労で農家との契約 11件	達成	健康福祉課
		アグリパークや農業法人などとの連携により、生産や加工などの雇用に結びつくシステムづくり 【区長マニフェスト】	2つの障がい者施設の加工品販売の支援 販売店舗数10店舗	販売店舗数 17店舗	達成	健康福祉課
24	ウ 障がいのある人も安全・快適に行動できる環境整備	ユニバーサルデザインに基づくバリアフリー化を推進	県バリアフリーまちづくり事業に申請 1件	県バリアフリーまちづくり事業に申請 4件	達成	健康福祉課

(4)生活困窮者の支援

病気や事故などで働けなくなったり、離別や死別で収入がなくなるなど、何らかの原因によって生活に困っている人に対し、最低限度の生活を保障するとともに、早期に自立して生活できるように支援していきます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	南区担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
25	ア 自立に向けた支援	区とハローワークによる一体的な就労支援の実施	・就労支援を区で月2回 ・ハローワークで月2回開催	就労支援を区で月4回開催	達成	健康福祉課

(5)健康寿命の延伸

子どもから高齢者まで全ての区民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう支援し、健康寿命の延伸を図ります。また、家庭や地域の中で笑顔があふれ、いきいきと自分らしく、こころ豊かに健やかな生活を送ることができる地域づくりを進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
26	ア 生活習慣病の予防	各種教室、相談会等保健事業の実施	・健康教育 120回以上 ・健康相談 45回以上	・健康教育 144回 ・健康相談 68回	達成	健康福祉課
		健康情報の発信	・区だよりによる情報提供 12回 ・市政情報コーナー(イオン白根店)での情報提供 2回	・区だよりによる情報提供 12回 ・イオン白根店特設ブースでの情報提供 半日2回	達成	健康福祉課
27	イ 疾病の早期発見、早期治療	健(検)診受診勧奨 【区長マニフェスト】	・ミニドック型集団健診での特定健診受診者 500人 (ミニドック型集団健診での2年未受診者からの特定健診受診者400人) ・血管年齢測定者 1,125人	・ミニドック型集団健診での特定健診受診者 360人 (ミニドック型集団健診での2年未受診者からの特定健診受診者119人) ・血管年齢測定者 1,774人	概ね達成	健康福祉課
		ハイリスク者向けの各種教室、相談会等保健事業の実施	・糖尿病教室1コース開催(3回1コース) ・教室修了者のつどい、糖尿病予防公開講座1回	・糖尿病予防教室1コース開催(3回1コース) ・教室修了者のつどい、糖尿病予防公開講座 1回	達成	健康福祉課
28	ウ 地域ぐるみで健康づくりの推進	健康づくり講座を開催し、地域での健康づくり活動をする自主グループの増加	食育の視点を入れた健康づくり講座の実施(1クール3回)	・伊勢みずほ健康づくり講演会 1回350人 ・免疫力アップ講座1回24人 ・健康づくり講座(ウォーキング) 3回	達成	健康福祉課
		保健会組織と協働し、生活習慣病予防のための意識を啓発	・学習会の開催14地区 ・はかろう体重！大作戦の実施(終了者1,000人)	・学習会の開催14地区 ・はかろう体重！大作戦の実施 終了者645人	概ね達成	健康福祉課
		地域で取り組む食生活の改善と運動習慣の普及	・食生活改善推進委員、運動普及推進委員研修会12回実施と地域活動支援	・食生活改善推進委員、運動普及推進委員研修会12回実施と地域活動支援	達成	健康福祉課

(6)高齢者が安心して暮らせるまち

住み慣れた家庭や地域で安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・保健・介護・福祉の連携を強化し、在宅医療の支援体制を推進します。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
29	ア 高齢者の介護予防と社会参加	老人福祉センターの指定管理者による生きがい推進事業の実施支援	各施設で自主事業実施 ・白寿荘 45回/年 ・楽友荘 2回/年 ・月寿荘 2回/年	各施設で自主事業実施 ・白寿荘 45回/年 ・楽友荘 11回/年 ・月寿荘 2回/年	達成	健康福祉課
		地域の茶の間の充実 【区長マニフェスト】	・地域の茶の間件数 59件 ・地域の茶の間(週1回以上) 3件	・地域の茶の間件数 60件 ・地域の茶の間(週1回以上) 1件	概ね達成	健康福祉課
30	イ 高齢者を地域で見守る仕組みづくり	高齢者を地域で見守り支援する意識醸成と仕組みづくり	・地域での「地域包括ケアシステム」説明会 4回 ・専門職研修会 2回	・地域での「地域包括ケアシステム」説明会 43回 ・地域ボランティア育成研修会 2回	達成	健康福祉課
31	ウ 在宅医療の支援体制の推進	在宅医療ネットワークグループとの協働	・多職種連携研修会の開催 2回	・多職種連携研修会の開催 2回 (うち区民向け啓発講演会 1回)	達成	健康福祉課

(7)生涯を通じた活躍の場づくり

健康で豊かな人生を送るため、生涯にわたり誰もが、いつでも学ぶことができる場を提供するとともに、スポーツ活動の支援を行い、いきいきと活躍できるまちづくりを進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
32	イ ひととまちを元気にする生涯スポーツ	体育施設の利用促進	南区内体育施設等利用者数 313,000人	南区内体育施設等利用者数 207,349人	未達成	地域総務課 地域
		健康づくりや世代間交流、地域間交流の推進	ウォーキング大会の開催 参加申込者数 160人以上	ウォーキング大会の開催 参加申込者数 164人	達成	地域総務課 地域
			フロアカーリング大会の開催 年2回参加申込者数 330人以上	フロアカーリング大会の開催 年2回参加申込者数 344人	達成	地域総務課 地域
			白根ハーフマラソン大会の開催 参加申込者数 1,700人以上	白根ハーフマラソン大会の開催 参加申込者数 1,900人	達成	地域総務課 地域
スポーツ人口の底辺の拡大	少年少女親善スポーツ大会の開催 参加者数 400人以上	少年少女親善スポーツ大会の開催 参加者数 408名	達成	地域総務課 地域		

3 区民や地域が主役となるまちづくり

(1) 区民と行政の協働の推進

地域との情報共有を図りながら、区自治協議会、地域コミュニティ協議会などとの協働を深め、様々な地域課題の解決に取り組み、区民ひとりひとりが地域の中で主役となるまちづくりを進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課	
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績			
33	ア 地域コミュニティ活動の活性化	まちづくりセンター機能の充実	平成29年度事業完了			地域総務課 地域	
		コミュニティ協議会等への支援	地域コミュニティ協議会の運営を支援 12コミ協		・運営費実績 17件(総額の68%) ・活動費実績 15件(" 32%)	達成	地域総務課 地域
			地域コミュニティ協議会、自治会、 NPO等の事業を支援 60事業		66事業	達成	地域総務課 地域
		地域活動の支援	コミュニティ・コーディネーター育成 講座企画実施 4回		コミュニティ・コーディネーター育成 講座 13回(うち補講7回) 実施	達成	白根地区公民館 地域総務課 地域
			コミュニティ協議会研修会の開催 1回		2回開催 (まちあるき研修会、元気の種事業報告会・人口減少に 対応する地域づくり講習会)	達成	地域総務課 地域
			自治会長研修会を開催 1回		1回開催	達成	地域総務課 地域
		地域活動の情報の発信、交換、 共有を図る	市HP等による情報発信 60回		92回発信	達成	地域総務課 地域
ワーク・ライフ・バランスの推進	・継続的な広報・啓発活動 区だよりによる広報 2回 男の料理教室開催 1回		・区だよりによる広報 2回 ・市政情報モニターを活用した広報 1回 ・料理教室の開催 1回 ・講演会の開催 1回	達成	地域総務課 地域 男女共同参画課		
34	イ 区民と行政の協働の推進	コミュニティ懇談会	コミュニティ懇談会 10コミ協以上で実施		12コミ協で実施	達成	地域総務課 地域
		地域要望・課題について、「地域応援団」と 各コミュニティ協議会との説明会・懇談会を 開催	説明会・懇談会 12コミ協で各2回開催		「地域応援団」事業として12コミ協で説明会と懇談会を 各2回開催	達成	建設課
35	ウ 区政情報の発信・共有	区役所だよりや、区のホームページなどを 活用した効果的な情報発信 【区長マニフェスト】	・区公式PRツイッターフォロワー数 1,500 ・報道への掲載件数前年度実績56件以上		・区公式PRツイッターフォロワー数 1,783 ・報道への区の間隔掲載件数 61件	達成	地域総務課 地域
		区長の手紙などの広聴活動により区政運 営に意見を反映	区長への手紙の簡易な案件は、受理後14日以内に差 出人に回答		簡易な案件は14日以内で回答 受理から回答まで平均18.6日	達成	地域総務課 地域

(3) 区民ニーズに応え、信頼される区役所づくり

区民のニーズにあった区政運営を進めるとともに、南区役所サービス憲章に沿った職員の育成と資質の向上を図ります。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課	
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績			
37	ア 区ビジョンまちづくり計画と区政 運営の着実な推進	区ビジョンまちづくり計画の進行管理	第2次実施計画の進行管理と年度評価 第3次実施計画の策定		・第2次実施計画の進行管理と年度評価 ・第3次実施計画策定	達成	地域総務課 地域
38	イ 南区役所サービス憲章に沿っ た 職員の育成と資質の向上	重点項目の設定	おもてなし運動等の実施 年3回		3回実施 ・H30.7 「元気な声でお声掛け」 ・H30.10 「笑顔でお迎えます」 ・H31.3 「身の周りを整理整頓」	達成	地域総務課 総務
		課を越えた横断的な体制での取組み	・業務改善グループを設置 年5回実施 ・また、横断的なプロジェクトチームが必要になった都 度、設置		・超過勤務縮減対策…所属長による会議を2回開催 ・窓口改善ワーキング…メンバーによる会議を3回開 催 ・空き家対策プロジェクトチーム…関係所属の担当者 による会議を1回開催	達成	地域総務課 総務
		区独自研修による職員資質の向上	区独自研修の実施 年12回		区独自研修の実施 年12回	達成	地域総務課 総務

II 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち

4 交通の利便性の高いまちづくり

(1) 便利で快適な公共交通体系の構築

バス交通の充実により、国道8号を基軸とし、都心や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高め、全ての利用者にとって利便性が高く、快適な公共交通体系をつくります。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課	
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績			
39	ア 公共交通体系の構築	区バス等の新規路線やバス事業者への区 間移管などの検討 【区長マニフェスト】	南区バス、乗合タクシー 利用者数合計 28,000人以上		南区バス、乗合タクシー利用者数 27,846人 (区バス 25,816人、乗合タクシー 2,030人)	概ね達成	地域総務課 地域
		住民バス運行支援	月湯住民バス利用者数 2,350人以上		月湯住民バス利用者数 2,381人	達成	地域総務課 地域
		公共交通事業者、区民との連携・意見交換	公共交通事業者、区民との連携・意見交換2回実施		・公共交通事業者、区民との連携・意見交換 10回 ・乗合タクシー事業者との意見交換 2回 ・住民バス運行協議会総会 1回 ・利用者懇談会 1回	達成	地域総務課 地域
40	イ 区内公共交通の利用環境整備 と意識の向上	区内公共交通の方向性について 民間等と意見交換	にいがた南区創生会議全体会、交通部会等への参画 6回		にいがた南区創生会議等 39回参画 ・全体会 1回 ・交通部会等 38回	達成	地域総務課 地域
		公共交通関連情報の発信	・区役所だより公共交通記事掲載10回 ・出前講座の実施6回実施		・区役所だより公共交通記事掲載 15回 ・出前講座の実施 24回	達成	地域総務課 地域

(2)早期点検補修による幹線道路と橋りょうの維持管理・整備促進

早期の点検補修により幹線道路と橋りょうの維持管理を実施し、その長寿命化を進め、地域の生活交通の確保、公共交通の利便性の向上を図ります。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	区担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
41	ア 幹線道路の適正な維持管理【再掲】	国道及び主要市道の日々の道路パトロールを実施し、補修・修繕を行う【再掲】	・通常パトロールを週4日実施 ・夜間パトロールを週1回実施 ・橋梁パトロールを年2回実施	・通常パトロール 週4日 ・夜間パトロール 週1回 ・橋梁パトロール 年4回 ・歩道パトロール 年2回	達成	建設課
42	イ 新潟中央環状道路の早期全線供用の推進【再掲】	国道116号から8号区間について、平成30年代前半の完了を目指す【再掲】	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(5回/年)	・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 5回/年 ・事業説明会実施 ・調整会議実施	達成	建設課
		国道8号から49号の区間について、平成26年度に着手し早期整備の促進を図る【再掲】	・西部地域土木事務所とともに事業説明会を随時開催する。 ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(4回/年)	・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 5回/年 ・事業説明会実施 ・調整会議実施	達成	建設課
43	ウ 国道8号白根バイパスの暫定2車線の早期供用及び大野大橋以南の4車線化の促進【再掲】	8号白根バイパスの早期暫定2車線供用に向け、地元と国との調整【再掲】	国と進捗確認・今後の工事計画などを話し合う会議を行う。(3回以上/年)	・工事の地元調整 ・バイパス開通に向けた各種調整 ・H31.3.10 開通式	達成	建設課
		大野大橋以南の渋滞緩和のため、ワークショップの開催、提言書を取りまとめ提出【再掲】	国との進捗確認・今後の工事計画などを話し合う(1回以上/年)	・4.26 ワークショップ開催 ・9.20 地元説明会 ・12.26 国へ提言書提出	達成	建設課
		8号白根バイパスの早期暫定2車線供用後の現8号の道路空間利用形態を「にいがた南区創生会議」で検討【再掲】 【区長マニフェスト】	・にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)6回開催、報告書をまとめる。 ・6月、7月マルシェを開催。	・にいがた南区創生会議(まちなか活性化部会)6回開催 ・マルシェを実施 2回開催 ・旧8号道路空間利用について報告書を取りまとめた。	達成	建設課
44	エ 信濃川と中ノロ川に架かる老朽化が進行している橋りょうの長寿命化及び架け替えの検討、維持補修の実施【再掲】	もぐり橋の架け替え、老朽化の著しい橋の架け替え【再掲】	西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(4回/年)	西部地域土木事務所と進捗確認し、今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 4回/年	達成	建設課
		橋梁の安全確保に向けた補修・補強工事【再掲】	・定期的な橋梁パトロールを実施する。(1回/年) ・西部地域土木事務所と進捗確認・今後の工事計画・課題などを確認する定期会議を行う。(4回/年)	西部地域土木事務所と進捗確認し、今後の工事計画・課題などを確認する定期会議 4回/年	達成	建設課

III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり

(1)特産物の産地化・ブランド化の推進

安心・安全で低コストな米づくりを推進し、新潟米のブランドを維持します。また、「食と花の銘産品」の西洋なし「ルレクチェ」、食用菊「かきのもと」、日本なし「新興」「新高」、ぶどう「巨峰」、いちご「越後姫」、しろねポーク、チューリップ、アザレア、ボケなどの一層のブランド化を進めるとともに、園芸作物の生産を拡大し、産地の維持・発展を図ります。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
45	ア 安心・安全で低コストな米づくりの推進	付加価値の高い売れる米づくり	コシヒカリ1等米比率の向上90%以上	・白根地区 92% ・味方地区 80% ・月潟地区 85%	概ね達成	産業振興課
		多様なニーズに対応した生産	非主食用米作付面積 790ha以上	非主食用米作付面積 659.08ha	概ね達成	産業振興課
		環境保全型の米づくり	主食用水稲作付面積に占める5割減栽培面積の割合 35.0%	主食用水稲作付面積に占める5割減栽培面積の割合 28.3%	概ね達成	産業振興課
46	イ 農畜産物のブランド化と生産・販路拡大	・販売促進PR事業の実施 ・各種メディアの活用 ・区農産物のイメージアップ 【区長マニフェスト】	・南区観光協会フェイスブックでの農産物PR回数 15回 ・パブリシティ活用によるPR 5回	・南区観光協会フェイスブックでの農産物PR回数 21回 ・パブリシティ活用によるPR 13回 ・フードメッセ2018を活用した農産物等のPR	達成	産業振興課
		・ブランド品目の育成と輸出の促進 ・稲作農家への園芸作物導入 ・転作物の産地化・ブランド化	支援事業の周知 地域特産作物作付面積 140ha以上	・再生協だより発行 ・地域特産作物作付面積 139.65ha	概ね達成	産業振興課

(2)資源循環、環境重視型の農業の推進

消費者に理解される環境にやさしい生産地を目指し、循環型農業の確立を図るため、資源循環事業を実施し、安心・安全な農業を確立します。また、農地の有する水源かん養や景観の保持、防災などの多面的機能の維持向上のため、農地の維持活動を通じて、その環境保全を進めます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
48	ア 資源循環事業の実施	南区資源循環事業の実施・普及と生産米の有利販売 【区長マニフェスト】	たい肥施用水田面積 120ha以上	たい肥施用水田面積 101.3ha	概ね達成	産業振興課
		環境保全型農業直接支払事業対象面積の拡大	事業対象面積 120ha以上	事業対象面積 122.7ha	達成	産業振興課
		多面的機能支払交付金事業の推進 【区長マニフェスト】	田んぼダム実施面積 2,900ha	田んぼダム実施面積 3,295.60ha	達成	産業振興課
49	イ エコファーマーの育成	・エコファーマーの育成 ・南区資源循環事業の連携	累計エコファーマー認定数 640件以上	累計エコファーマー認定数 672件	達成	産業振興課
50	ウ 農地維持活動、環境保全活動の支援	・環境保全地域活動の支援 ・生物多様性に配慮した生産活動 ・魅力的な農村景観の継承	環境保全活動取組面積率 90%以上	環境保全活動取組面積率 91.1%	達成	産業振興課

(3) 多様な担い手の育成

農地の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積を進めるため「人・農地プラン」を地域で推進し、水田の大規模経営化を図るとともに、園芸や畜産経営の高度化を進めるなど、多様な担い手を育成します。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H29(2017)年度	H29(2017)年度実績		
51	ア 「人・農地プラン」の推進と生産性の高い農業経営の確立	担い手への農地集積の促進	認定農業者への農地集積率 64%	認定農業者への農地集積率 66.88%	達成	産業振興課
		農地の効率的な活用	地域集積協力金の活用(交付準備含む) 6件	・地域集積協力金活用地域 3件 ・地域集積協力金活用検討地域 2件	概ね達成	産業振興課
		・経営管理の合理化 ・法人化の促進	新規法人組織 1件	新規法人相談受付 1件	未達成	産業振興課
52	イ 新規就農者、青年就農者の育成、支援	新規就農者や青年就農者の相談の場の明確化とサポート	新規就農者数 15名	新規就農者数 19名 (就農 8名、就業 11名)	達成	産業振興課
53	ウ 多様な担い手の育成	国家戦略特区の活用 【区長マニフェスト】	候補事業者の選定件数 2件	候補事業者の選定件数 3件	達成	産業振興課

(4) 農商工連携の推進

豊富で良質・新鮮な農産物を活かして、農商工連携による6次産業化を推進し、付加価値の高い農産品の開発を進めるとともに、地域ビジネスの展開や新たな産業の創出、雇用の創出によって、地域全体の所得増大につなげ南区の活性化を図ります。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	南区担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
55	ア 農商工連携による6次産業化	農商工連携による6次産業化の推進 【区長マニフェスト】	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 5品	新商品数 5品	達成	産業振興課
56	イ 農業活性化研究センター、食品加工センターとの連携	農業活性化研究センター、食品加工センターとの連携	相談件数 5件以上	・農業活性化研究センター、食品加工支援センターへの相談件数 10件	達成	産業振興課

(5) 互恵による都市・農村交流の推進

アグリパークと連携して農村・都市交流を進め、交流人口の拡大を図ります。また、農業・農村は農業生産活動による国土の保全、水源かん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を有しており、生活や経済の安定に重要な役割を果たしていることを、交流を通じて都市住民の理解を広げます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
57	ア アグリパークとの連携による交流人口の拡大	アグリパークと観光農園、観光施設の連携促進	区内観光施設等との連携企画 5件	・アグリパーク宿泊者対象の観光農園(特別優待券 22件) ・南区収穫祭ツアー(9月、昼食、フェイスブック発信) ・ネスバスにおける観光農園等と連携したPR 2回 ・アグリパークでの南区観光パンフレット配布 ・図ろう体重大作戦達成賞(アグリパーク内レストラン優待券 68件) ・しろね満喫クルーズツアー(3月、アグリパークにて昼食と散策)	達成	産業振興課
		観光イベント等でのアグリパークのPR	県外イベントなどでのPR活動 3回	・渋谷 5月、11月 ・ネスバス 9月、12月 ・イオン越谷 12月	達成	産業振興課
58	イ 農地維持活動、環境保全活動の支援【再掲】	環境保全地域活動の支援 生物多様性に配慮した生産活動 魅力的な農村景観の継承 【再掲】	環境保全活動 取組面積率 90%以上	環境保全活動取組面積率 91.1%	達成	産業振興課

III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

6 いきいきと働けるまちづくり

(1) 産業活性化による雇用創出

各商工会などと連携し、経営全般についての相談に対する指導を活かすなど、既存企業の経営基盤強化を図るとともに、企業の進出状況や支援制度などの情報を広く的確に提供することにより企業を誘致し、産業の活性化と、雇用の場の創出を図ります。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
59	ア ニューフード/バレー構想の推進と企業立地の促進	食品加工・商品開発の支援 【区長マニフェスト】	南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 5品	新商品数 5品	達成	産業振興課
		企業誘致につながるPR等を実施 【区長マニフェスト】	・南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 5品 ・各特色ある区づくり事業実施に係る新商品、お土産品等の展示・販売・PRの回数 10回	・南区産農産物等を活かして開発し販売開始された新商品数 5品 ・各特色ある区づくり事業実施に係る新商品、お土産品等の展示・販売・PRの回数 16回	達成	産業振興課
60	イ 地域企業の連携促進	中小企業者の設備投資を支援	設備投資補助制度利用数 4件 制度融資の利用数 100件	・新潟市中小企業生産性向上設備投資補助金の活用件数 6件 ・新潟市制度融資の活用件数 108件	達成	産業振興課
		管内企業が相互に連携できる環境づくりの支援	区内3商工会(白根・味方・月湯)及び白根経営振興協議会、各工業団地企業会との情報交換会等の実施・参加回数 20回	各商工業団体との懇談・情報交換会等の実施・参加回数 27回	達成	産業振興課
61	ウ 伝統的な地場産業への支援 【区長マニフェスト】	伝統的工芸品である白根仏壇と月湯鎌の支援	・白根仏壇プロモーション事業による新商品の展開 2品 ・新商品プロモーション及び白根仏壇PR 8回	・白根仏壇プロモーション事業による新商品の展開 1品 ・新商品プロモーション及び白根仏壇PR 8回	概ね達成	産業振興課
62	エ 成長産業の育成支援	航空機部品の共同工場と南区内既存企業の連携 【平成29年度事業完了】	共同工場への入居・稼働状況の確認・把握 年3回			産業振興課

(2) まちなかの活性化

人口減少や超高齢社会に対応し、にぎわいがあり、誰もが不便なく安心・安全に暮らせる持続可能なまちづくりを推進するために、まちなかの活性化を図ります。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
63	ア 拠点商業活性化推進事業計画(平成27年度～平成31年度)の実施	「利用しやすく、安心できる商店街」の実現のための取組み	商業活性化事業の取組み支援 10件 計画最終年度 1日当たりの平均来店者数30%に向けた取組み 計画最終年度 60歳以上の利用頻度 計画最終年度 子育て世代の利用頻度	商業活性化の取組み支援 13件(内、拠点商業地内9件)	達成	産業振興課
		「人々が集う、にぎわいのある商店街」の実現のための取組み	南区内の空き店舗及び空き家の新規活用件数 3件	南区内の空き店舗及び空き家の新規活用件数 3件	達成	産業振興課
		【区長マニフェスト】	商業活性化事業の取組み支援 10件 計画最終年度 商店街利用者の満足度とても満足・満足35%以上にに向けた取組み 計画最終年度 子育て世代の満足度とても満足・満足20%以上にに向けた取組み	商業活性化の取組み支援 13件(内、拠点商業地内9件)	達成	産業振興課
		「愛着と誇りを持てる宝物のある商店街」の実現のための取組み	歴史や文化・工芸にちなんだイベント数2件 地域の宝物を利用した商品やサービス数 1回	・白根商店街の町屋や仏壇、大風を巡るまちあるきの開催 13回 ・しろね大風タウンガイド空き家対策講演会(12/13) ・白根今昔写真物語(3/17) ・しろね祭り「仏壇蒔絵体験」白根商工会青年部(8/4)計 4件 ・風合戦お祭り広場「食合戦」 ・風合戦お祭り広場「しろねまちなかミュージアム」 ・白根まつりにおける「でんぶ焼き」復活販売計 3回	達成	産業振興課
64	イ 商店街への支援	まちなかカルチャースクールの実施	まちなかカルチャースクールの実施 1回	・しろね祭り時に「仏壇蒔絵体験教室」開催 ・「みずの記憶新聞作り」2回	達成	産業振興課
		商店街マップの利用促進	まちあるきの開催 12回	商店街を中心としたまちあるきの開催 13回	達成	産業振興課
		魅力ある商店街づくりを支援	商業活性化事業の取組み支援 10件	商業活性化の取組み支援 13件(内、拠点商業地内9件)	達成	産業振興課

IV 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち

7 にぎわいと多彩な交流のまちづくり

(1) 発信力の向上と交流人口の拡大

白根大風合戦、笹川邸(市所有唯一の国重要文化財旧笹川家住宅)、郷土芸能角兵衛獅子、そのほか地域固有の文化施設や伝統行事に「食」を組み合わせた観光プランなどを構築することにより、通過型観光から滞在型観光への転換を図り、交流人口の拡大につなげます。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
65	ア 滞在型観光の定着に向けた観光プランの構築	誘客を目的とした旅行商品の造成、販売の促進	白根大風合戦観戦ツアー等ツアー造成 2回	・白根大風合戦観戦ツアー1件(6月) ・しろね満喫クルーズツアー1件(3月)	達成	産業振興課
		商店街マップの利用促進【再掲】	まちあるきの開催 12回	・風合戦期間中のまちあるき ・「みずの記憶新聞作り」まちあるき ・白根今昔写真物語まちあるき 他13回	達成	産業振興課
66	イ 各種イベントなどにおける誘客宣伝	首都圏や関西圏での物産展の開催と検証	首都圏での物産展等の開催 4回	・渋谷フラワーフェスティバル(5月) ・秋おいしさ満載便(9月) ・ふるさと渋谷フェスティバル(11月) ・イオンレイクタウン新潟市フェア(12月) ・冬おいしさ満載便(12月)	達成	産業振興課
		県外観光キャラバンやメディアを活用した南区の観光資源の広告宣伝を展開	・サポーターズミーティングなどでのPR 1回 ・観光情報誌等による情報発信	・サポーターズミーティング参加(4月) ・komachi(風合戦) ・キャレル(かぐらin笹川邸) ・じゃらん(桜遊歩道公園) ほか	達成	産業振興課
67	ウ 南区観光情報の発信	南区の魅力や宝ものの情報発信を支援	南区観光協会ホームページアクセス数 320,000回	アクセス数 299,734件	概ね達成	産業振興課
		【区長マニフェスト】	南区観光協会フェイスブックフォロワー数 1,600件	南区観光協会フェイスブックフォロワー数 1,733件	達成	産業振興課
		区役所だよりや、区のホームページなどを活用した効果的な情報発信【再掲】・【区長マニフェスト】	・区公式PRツイッターフォロワー数 1,500 ・報道への掲載件数前年度実績56件以上	・区公式PRツイッターフォロワー数 1,783 ・区の年間掲載件数 61件	達成	地域総務課 地域

(2) 地域の宝のみがきと次世代への継承

地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに、保全と活用を図り、次世代へ継承します。

事業	取り組み	取組み内容	工程・数値目標		評価	担当課
			H30(2018)年度	H30(2018)年度実績		
68	ア 個性ある伝統文化を活かした地域づくり	地域伝統文化保存育成のための地域活動支援	伝統文化等保護継承団体での活動者数 350人以上	・伝統文化等保護継承団体での活動者数 499人 ・伝統芸能フェスタ観覧者数 400人	達成	地域総務課 地域
69	イ 地域の宝ものの保全と活用	文化資源の知名度向上及び保全活用 【区長マニフェスト】	文化施設年間入館者数28,000人	文化施設年間入館者数 22,839人	概ね達成	地域総務課 地域